

令和4年度

事業計画書

収支予算書

自 令和4年（2022年）4月1日

至 令和5年（2023年）3月31日

一般財団法人杉並区交流協会

目 次

令和4年度 事業計画書 …………… 1

令和4年度 収支予算書 …………… 5

令和4年度

事業計画書

令和4年度 事業計画書

(令和4年(2022年)4月1日から令和5年(2023年)3月31日)

1 在住外国人の支援に関する事業

杉並区内に住む外国人の方々が安心して生活できるように、相談窓口や通訳・翻訳業務を実施するほか、交流イベントや講座・研修会を開催します。

また、新たな取組として、外国人等児童、生徒に対する日本語教育推進事業を実施します。

項目(日程)	事業内容
ウェルカム・パーティー (5月)	新たに区民となった外国人等を対象に、地域で生活していくうえで必要なごみの分別体験、避難訓練、交通安全指導等を行い、日本の生活習慣の会得と防災意識の醸成を図るとともに、参加者同士の交流を深める。
外国人サポートデスク	日常生活に関する悩み事や困り事などの相談、情報提供を通して外国人の暮らしを支援する。区役所の相談窓口で、協会のボランティア相談員により実施する。 ◆英語＝月曜日午後、金曜日午前 中国語＝月曜日午前、第1・3・5金曜日午後 韓国語＝第2・4金曜日午後 ネパール語＝第1・3水曜日午前 ※午前＝9時～12時、午後＝13時～16時
外国人のための無料専門家相談会 (令和5年2月)	東京国際交流団体連絡会議に参加する交流協会・弁護士会・行政書士会・税理士会等が連携した、問題解決型の無料専門家相談会を開催する。
日本語教室	日本語教育に取り組むボランティアグループが杉並区交流協会にて外国人の日本語教室を実施する。 ◆月・水・金曜日の午前、火・木曜日の全日に実施
語学ボランティアの登録・運営	協会の事業や地域のイベント等に通訳・翻訳者として参加・協力する語学ボランティアの登録・運営を進める。
外国人とのコミュニケーション講座～やさしい日本語 (6月～7月)	区民を対象に、簡単な日本語を使って在住外国人や外国人観光客とのコミュニケーションを図る意義・コツを学ぶ講座を開催する。
新規 日本語教育推進事業 (10月～令和5年3月)	外国人等児童、生徒に対する日本語教育事業を実施する。 ◆日本語学習支援ボランティア講座 ◆(仮称)子ども日本語教室

2 国内外の自治体交流の促進に関する事業

杉並区の国内外交流自治体等との交流を深めるため、東京高円寺阿波おどりを通じた交流や市民交流を目的とした自治体への区民体験ツアーなどを実施します。

項目（日程）	事業内容
東京高円寺阿波おどりを通じた交流事業 （①6月～令和5年3月） （②8月）	①交流自治体との友好親善を深め、市民交流の拡大を図るため、交流自治体の祭りや行事に阿波おどり訪問団を派遣する。（名寄市、東吾妻町、南伊豆町、青梅市） ②交流自治体との友好親善を深め、市民交流の拡大を図るため、東京高円寺阿波おどり大会に参加する交流自治体阿波おどり連を募り、受け入れる。
区民ツアー （①未定） （②12月）	①文化やスポーツ、農業体験などを通じた多様な市民交流を促進するため、国内交流自治体を訪問する体験型の区民ツアーを実施する。 ②交流自治体中学生親善野球大会や東京高円寺阿波おどり台湾公演等を通じて交流を進めている台湾を訪問し、市民交流を深める区民ツアーを実施する。
台湾との文化・芸術交流事業 （①未定） （②9月）	①東京高円寺阿波おどり台湾公演を実施する。 ※4月に予定していたが新型コロナウイルス感染症の影響により延期した。開催時期等は調整中。 ②台北木偶劇団による伝統人形劇の杉並公演を実施する。（台湾文化部主催）

3 多文化共生社会の相互理解の向上に関する事業

異なる世代・立場・国籍の人々が共生していくために、互いの文化を学び合い交流する機会を提供します。

項目（日程）	事業内容
日本語スピーチ大会 （令和5年3月）	外国人に出身国のことや日本の生活体験などを日本語で発表してもらい、日本で暮らす外国人と区民との相互理解を図る。
海外文化セミナー （令和4年11月）	一つの国を取上げ、区民へその国の歴史や文化などを紹介し、理解を深めてもらう。講演会、音楽の演奏、舞踊や民芸品の展示等を行う。

異文化理解講座 (9月～11月)	在住外国人に出身国の文化について紹介してもらい、区民との相互理解・交流を深める。また、留学生との交流事業も実施する。
まるごと台湾フェア (9月)	台湾の歴史や文化などを紹介し、理解を深めるとともに相互の交流を図る。映画、講演会、民芸品の展示のほか台湾物産をテントやキッチンカーにより販売する。
ホームステイ・ホームビジット (10月)	杉並区で開催する交流自治体中学生親善野球大会において、台湾選手を杉並区選手の家等等に招き交流を深める。また、区内在住の留学生などとの交流の場を創出し相互理解を図る。

4 その他交流協会の目的を達成するために必要な事業

広報・情報提供事業やコミュかるショップ等の運営を行います。

項 目	事 業 内 容
広報・情報提供	<p>①交流ニュースの発行 協会の交流事業や外国人に関わる行政情報を幅広く収集し、会員・区民・外国人・関係団体に提供する。 ◆発行時期：4月・7月・10月・1月 ◆発行部数：各月5,000部 ◆配布先：区施設・区広報スタンド・交流自治体・JR・私鉄各駅・その他関係団体 ほか</p> <p>②ニュースレターの発行 協会の会員及び関係者に向け、タイムリーに協会の事業や各種情報を提供する。 ◆発行時期：5月・6月・8月・9月・11月・12月・2月・3月 ◆発行部数：各月1,200部 ◆配布先：会員、レターフレンド、その他関係団体</p> <p>③ホームページ等の運営 ホームページを活用して協会事業を素早く紹介するとともに、在住外国人に向けて必要な情報を提供する。また、英語版ホームページやFacebookを利用し、幅広い広報活動を推進する。</p>
会員制度の運営	<p>協会を支援する会員制度を運営する。 ◆会員（計画）：個人170名（年会費1,000円） 法人2団体（年会費20,000円）</p>

<p>コミュかるショップの 運営</p>	<p>「区内で一番すぎなみが集まる場所」という理念のもと、区民に親しまれるショップ運営を進める。</p> <p>◆フェア（予定）</p> <p>4月 なみすけフェア</p> <p>7月 サマーフェア</p> <p>10月 なみすけフェア</p> <p>12月 名寄おもちフェア</p> <p>令和5年3月 南相馬市応援フェア</p> <p>◆出張販売（予定）</p> <p>10月 阿佐谷ジャズストリート</p> <p>11月 すぎなみフェスタ</p> <p>令和5年2～3月 小学生名寄自然体験交流事業学習成果発表会</p>
--------------------------	---

令和4年度

収支予算書

令和4年度収支予算書

令和4年（2022年）4月1日から令和5年（2023年）3月31日

（単位：円）

科 目	本年度予算額 (令和4年度)	前年度予算額 (令和3年度)	比較増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	210,000	240,000	△ 30,000
賛助会費収入	210,000	240,000	△ 30,000
事業収益	7,919,000	8,554,000	△ 635,000
参加料収入	119,000	586,000	△ 467,000
販売コーナー収入	7,800,000	7,968,000	△ 168,000
受取補助金等	66,079,000	59,299,000	6,780,000
区補助金収入	52,354,000	51,440,000	914,000
区分担金収入	13,725,000	7,859,000	5,866,000
雑収益	32,000	32,000	0
寄付金収入	1,000	1,000	0
受取利息	1,000	1,000	0
雑収入	30,000	30,000	0
経常収益計	74,240,000	68,125,000	6,115,000
(2) 経常費用			
事業費			
会議費	990,000	864,000	126,000
旅費交通費	1,558,000	1,640,000	△ 82,000
通信運搬費	711,000	740,000	△ 29,000
消耗品費	845,000	834,000	11,000
印刷製本費	1,139,000	998,000	141,000
使用料及び賃借料	862,000	2,558,000	△ 1,696,000
保険料	85,000	221,000	△ 136,000
諸謝金	2,839,000	3,298,000	△ 459,000
手数料	14,000	0	14,000
負担金	50,000	50,000	0
助成金支出	60,000	0	60,000
委託費	12,743,000	5,710,000	7,033,000
商品仕入	7,200,000	7,200,000	0
振込手数料	120,000	120,000	0
事業費計	29,216,000	24,233,000	4,983,000

科 目	本年度予算額 (令和4年度)	前年度予算額 (令和3年度)	比較増減
管理費			
役員報酬	180,000	120,000	60,000
給与手当	33,372,000	33,734,000	△ 362,000
福利厚生費	5,352,000	4,488,000	864,000
会議費	12,000	9,000	3,000
費用弁償	246,000	180,000	66,000
旅費交通費	96,000	84,000	12,000
通信運搬費	367,000	375,000	△ 8,000
消耗品費	496,000	677,000	△ 181,000
修繕費	100,000	50,000	50,000
印刷製本費	69,000	77,000	△ 8,000
光熱水費	396,000	396,000	0
使用料及び賃借料	672,000	357,000	315,000
保険料	91,000	0	91,000
租税公課費	128,000	420,000	△ 292,000
負担金	1,060,000	40,000	1,020,000
委託費	2,007,000	2,505,000	△ 498,000
渉外費	120,000	120,000	0
振込手数料	60,000	60,000	0
管理費計	44,824,000	43,692,000	1,132,000
予備費	200,000	200,000	0
経常費用計	74,240,000	68,125,000	6,115,000

科 目	本年度予算額 (令和4年度)	前年度予算額 (令和3年度)	比較増減
評価損益等調整前 当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外費用計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,700,000	0	1,700,000
一般正味財産期首残高	1,700,000	0	1,700,000
一般正味財産期末残高	3,400,000	0	3,400,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	6,400,000	3,000,000	3,400,000